

事務事業名		農業基盤整備促進事業					<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	0:3:産業活性化に向けたまちづくり					所属課	産業振興課	担当	農村整備担当	
	施策名	0:3:農業生産基盤の充実					課長名	高橋 好雄	担当者名	神山 直行	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名				
		01	05	01	03	001	農業農村整備費				
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度~ 年度)					関係法令・条例等				
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」を実現するためには、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備により、担い手の農地集積を加速化し、農業の構造改革を推進することが不可欠である。 また、戦後急速に整備された農業水利施設については、今後、耐用年数を迎える施設が急激に増加することから、適切な保全管理が求められている。 このため、農業・農業水利施設等の整備を実情に応じて実施し、農業競争力の強化を図るものである。 補助率は、国50%、県15%、町15%、地元20% ※補助は直接事業主体(土地改良区等へ)</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 平成26年度は2箇所を計画 ①上沢 事業主体:船生土地改良区 農業水路351m 受益面積36ha 受益戸数33戸 事業費25,000千円(町負担額3,750千円) ②風見 事業主体:赤沼用水土地改良区 農業水路140m 受益面積105.8ha 受益戸数110戸 事業費20,000千円(町負担額3,000千円)</p>									

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	整備箇所は上沢と風見の2箇所。	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	当該農業施設(今回においては水路)の利用が必要とされる農用地及び所有農家。	ア 整備箇所	箇所
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	施設としての機能向上 上沢は土掘り水路のコンクリート水路への更新(W1,000×H800) 風見は老朽化で漏水を伴う水路の更新(W1,500程度×H800程度)	イ 受益農地	ha
		イ 受益者	件
		名称	単位
		ア 農業施設(水路)の機能向上	m
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値	箇所 箇所	2				
	イ	目標値 実績値	0 0					
対象指標	ア	目標値 実績値	ha ha	142				
	イ	目標値 実績値	件 件	143				
成果指標	ア	目標値 実績値	m m	491				
	イ	目標値 実績値	0 0					

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		6,750		
	事業費計(A)	千円	0	6,750	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人				
延べ業務時間		時間					
人件費計(B)		千円	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	6,750	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人				
延べ業務時間		時間					
人件費計(B)		千円	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	農家が幅広く利用する農業施設整備の関するものであり妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	以前からの要望であり、今回、国の新たな有効性の高い補助事業ができたため活用し、早急に整備したい。中には水路から民家敷地への漏水箇所もあり、また近年の豪雨災害への対策として早急に整備が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	設計管理の実績がある業者(県土地改良事業団体連合会)への土地改良区への確認(概略試算)である。事業も単年度で行うことにより現場管理費等を節減している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	多くの受益者の利便性向上に資するものであり、受益者の関係する事業主体(土地改良区)からの負担もあり、不公平さはない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 10 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業